

文化振興基本計画施策体系表

施策の柱	基本的な施策	主要施策概要	事業の具体例
①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	<p>【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発</p> <p>【2】市民の鑑賞機会の提供</p> <p>【3】市民の文化活動や発表する機会の確保</p> <p>【4】文化活動に関する情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆市の文化施設での文化に関する講座、講演会等の開催 ◆文化団体との連携による鑑賞機会の提供 ◆市の文化施設での公演事業の実施 ◆市立図書館での展示事業の実施 ◆市立美術館での美術作品の展覧会の開催、文化に関する資料等の展示、展覧会等の開催 ◆芦屋市展の開催 ◆文化団体の創作、発表等の活動への助成等による支援 ◆伝統芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催による支援 ◆市の文化施設での創作、練習、発表等の活動の場の提供 ◆市の文化施設の利用環境の整備 ◆広報紙、ホームページ等様々な媒体による文化活動のための情報の提供 ◆市の文化施設へのバリアフリー化の推進 ◆市の文化施設での託児支援等の取組 ◆市の文化施設での高齢者、障がい者の観覧料等の軽減 ◆市の文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施 ◆市立図書館での絵本展示等の実施 ◆市立美術館での人形劇の実施 ◆市立図書館での子どもや親子を対象とした読書に親しまひのための事業の実施 ◆市立美術館での文化を体験する機会の提供や体験型ワークショップの実施 ◆学校への芸術家等派遣事業の実施 ◆本物の舞台芸術体験事業の実施 ◆学校と文化施設、芸術家等や文化団体と連携した教育の推進 ◆子どもの文化活動を支援する人材(ボランティア)リストの作成 ◆市民絵画展、芦屋市展、芦屋市造形教育展の開催 ◆文化団体の活動に対する後援 ◆文化団体相互の連携の促進 ◆市の文化施設での社会教育関係団体等の使用料の軽減
	イ 高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	◆歴史を学ぶ機会への提供
	ウ 青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	◆伝統的な文化に触れる機会の提供
	エ 学校教育における文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	◆市の文化施設での能・狂言などの伝統芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保
	オ 人材の育成に関する支援	【8】文化に関する体験学習等の充実	◆市の文化施設での地域の歴史・文化などの講座、講演会や資料展示の実施
	カ 文化団体の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	◆文化財の保存・整備と活用
	キ 文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	◆文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施
	ク 地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会の提供	◆市立美術館での文化財等に関する資料の収集、保管、展示及び研究
	ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【12】文化財保護の充実等	◆広報紙、ホームページ等による文化財に関する情報の提供
	ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【13】国際交流の推進	◆海外の姉妹都市との交流事業
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【14】多文化理解の推進	◆市立朝芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業の実施	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【15】文化資源を活用した地域の活性化	◆アートフレームワーク等による芸術家等の育成支援	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【16】良好な景観の形成	◆市の文化施設地域の地蔵など文化資源に関する地域情報発信	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【17】市の文化施設の機能の充実	◆全市を景観法で定める「景観地区」の指定による魅力ある景観づくりの推進	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【18】運営方法の点検等	◆景観地区のうち、特徴のある景観を有する地域は「特別景観地区」の指定により、良好な景観の保全・育成の推進	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【19】学校施設、公共施設の活用	◆文化施設の特長に応じた芸術家等の人材育成、教育プログラム、アウトリーチ活動等の実施	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【20】情報の収集等	◆文化施設における参加型型型(ワークショップ)事業の実施	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【21】利便性の向上	◆文化施設の特長に応じたプログラムの充実及び活用の促進	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【22】文化にかかわる資料、作品、情報等の保存	◆施設利用者を対象としたアンケート調査の実施	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【23】活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆学校施設、公共施設での文化活動の場としての活用	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【25】顕彰の実施	◆広報紙、ホームページや電子メールを活用した文化情報の提供	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【26】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【27】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆施設利用予約システムの運用	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【28】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆市の文化施設における取鑑資料等のデジタル化、データベース化の推進	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【29】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆芦屋市芸術文化活動助成事業の実施	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【30】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆地域文化活動補助事業の実施	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【31】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆寄附税制等に関する周知	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【32】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆文化団体への寄附の促進	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【33】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆企業・セナ等に関する表彰の提供	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【34】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆市民文化賞による表彰の実施	
ク 固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	【35】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆富田啓花賞顕彰事業の実施	

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票〔文化ゾーン：谷崎潤一郎記念館〕

課長名		長岡一美		◆文化振興基本計画に基づく事業評価票〔文化ゾーン：谷崎潤一郎記念館〕																										
NO	イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	1 文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	2 内訳表					H26 事業費 (単位:千円)	3 効果の実施が客観的に確認できる指標			5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成でき た C:達成できていない	6 課題	7 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組										
			① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主 な 施 策 概 要			イベント・講座等の実施内容		対 象 世 代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)		参 加 人 数 (人)	指 標 名	単 位				H25	H26	方 向 性	掲載された広報媒体(該当するところ◎を記入ください)							
								イベント・講座名	実施内容														指 標 値	単 位	H25	H26	方 向 性	広 報 あ し や	市HP	あしやライ あんぐる
1	1日講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	多様化・高度に専門化した館利用者の学習ニーズに対応	王朝継ぎ紙一日体験講座	幅広い世代	7月15日	1	11	再掲 5,329						A	学習意欲の向上及び継続性	多種多様な学習機会の提供及び学習活動の支援	◎	◎					読売新聞	図書館・美術館		
							篆刻一日体験講座	幅広い世代	10月7日	1	5																			
							やさしい立ちびなを作りましよう	幅広い世代	翌年2月15日	1	20																			
2	現地講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文学を基盤とした市民文化の向上	谷崎潤一郎 旧邸めぐり	幅広い世代	① 4月5日、同月18日 ② 4月12日、同月25日	2	① 13 ② 21	再掲 2,192						A	学習意欲の向上及び継続性	多種多様な学習機会の提供及び学習活動の支援	◎	◎					読売新聞	図書館・美術館 新宮市立佐藤春夫記念館、虚子記念文学館、日本近代文学館等		
3	特別イベント	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文学を基盤とした市民文化の向上	谷崎映画名作選「細雪」上映会	幅広い世代	5月18日	2	756	再掲 2,192								入館者層の固定化	メディア芸術の原点である映画を利用し、谷崎文学愛好者の拡大に努めたい。	◎	◎				読売・朝日・毎日・産経・神戸各新聞他	図書館・美術館 新宮市立佐藤春夫記念館、虚子記念文学館、日本近代文学館等		
							朗読シアター B y あおぞらドラマカンパニー「細雪」	幅広い世代	11月8日	2	175	再掲 2,192								受講者の固定化	周知先・周知方法等の改善	◎	◎				読売新聞	図書館・美術館		
							朗読シアター B y あおぞらドラマカンパニー「春琴抄」	幅広い世代	① 4月29日 ② 4月30日	2	① 62 ② 40																			
4	特別行事	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文学を基盤とした市民文化の向上	第28回残月祭講演会「恋すること」	幅広い世代	7月24日	1	300	再掲 2,192								入館者層の固定化	谷崎文学の理解を深め、学習意欲向上を図る。	◎	◎				読売・朝日・毎日・産経・神戸各新聞他	図書館・美術館 新宮市立佐藤春夫記念館、虚子記念文学館、日本近代文学館等		
5	文学館講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	多様化・高度に専門化した館利用者の学習ニーズに対応	スケッチ講座 金曜クラス	幅広い世代	毎月第1・3金曜日	23	194	再掲 5,329							A	講座受講者の固定化	各種広報媒体を利用して、谷崎潤一郎記念館の認知度を上げ、新たな入館者層の拡大・受講者の増加を図る。	◎	◎				読売・神戸新聞	図書館・美術館		
							白磁上絵付講座	幅広い世代	毎月第1・3土曜日	20	168																			
							書と篆刻そして印てがみ講座	幅広い世代	毎月第1火曜日	10	39																			
							筆で描くカリグラフィ講座	幅広い世代	毎月第1金曜日	12	73																			
							今日から短歌!	幅広い世代	毎月第1水曜日	12	33																			
							茶花講座	幅広い世代	毎月第1水曜日	4	24																			
							幸せを呼ぶ絵手紙講座	幅広い世代	毎月第1土曜日	12	66																			
							茶花講座	幅広い世代	毎月第1木曜日	7	46																			
							初歩からの朗読講座	幅広い世代	毎月第1木曜日	8	77																			
							スケッチ講座 水曜クラス	幅広い世代	毎月第2・4水曜日	24	220																			
							季語から始める俳句レッスン	幅広い世代	毎月第2土曜日	12	74																			
							仏画講座	幅広い世代	毎月第2土曜日	12	57																			
							「枕草子」を読む講座	幅広い世代	毎月第2木曜日	12	257																			
							短歌講座	幅広い世代	毎月第3火曜日	12	45																			
							源氏物語講座	幅広い世代	毎月第3金曜日	12	769																			
							ほっこり書講座	幅広い世代	毎月第3水曜日	10	64																			
							朗読ワークショップ	幅広い世代	毎月第3木曜日	8	69																			
							ちよつといい文章書いてみませんか講座	幅広い世代	毎月第4水曜日	12	105																			

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票〔文化ゾーン:美術博物館〕

No	課長名	長岡一美	1																	3	4				5	6	7	8					
			イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	2						H26 事業費 (単位:千円)	効果の実施が客観的に確認できる指標				自己評価	課題	今後のビジョン	広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組									
					① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主な 施策 概要			内訳表							指標名	単位	H25					H26				方向性	掲載された広報媒体(該当するところ◎を記入ください)	協働した団体			
										イベント・講座等の実施内容	対象世代 (難向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)	イベント・講座名																実施内容	指標名	単位
3	展示事業(関連事業としての講座・講演、ワークショップを含む)	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	美術や歴史資料等の活用を図った市民文化の向上	art trip vol.1 窓の外、恋の旅。/風景と表現展 及び関連事業	オープニングイベント「映像と音楽によるライブ」	幅広い世代	9月27日	1	93	再掲 22,733	A	入館者層の固定化	芸術家との交流や徹底した情報収集等を通して「芸術の感動、楽しさ」を伝える企画展の開催	◎	◎	◎	神戸新聞	市民センター・図書館・谷崎記念館	阪神間美術館・博物館 他											
								トークイベント「谷川俊太郎さんの朗読とお話」	幅広い世代	10月4日	1	104																					
								街歩き「作者と巡る風景」	幅広い世代	10月25日	1	11	再掲 22,733	A	入館者層の固定化	芸術家との交流や徹底した情報収集等を通して「芸術の感動、楽しさ」を伝える企画展の開催	◎	◎	◎		市民センター・図書館・谷崎記念館	阪神間美術館・博物館 他											
								ワークショップ「展示会の風景」	幅広い世代	10月26日	1	14																					
								学芸員によるギャラリー・トーク	幅広い世代	10月11日、11月1日	2	16	再掲 22,733	A	入館者層の固定化	芸術家との交流や徹底した情報収集等を通して「芸術の感動、楽しさ」を伝える企画展の開催	◎	◎	◎		市民センター・図書館・谷崎記念館	阪神間美術館・博物館 他											
								講演会「アーティスト・トーク」	幅広い世代	11月9日、11月16日、11月23日	3	85																					
								art trip vol.1 窓の外、恋の旅。/風景と表現展	幅広い世代	9月27日～11月30日	1	2,965	再掲 22,733	A	入館者層の固定化	芸術家との交流や徹底した情報収集等を通して「芸術の感動、楽しさ」を伝える企画展の開催	◎	◎	◎	読売・朝日・毎日・産経・神戸各新聞他	市民センター・図書館・谷崎記念館	主に西日本全域の美術館・博物館 他											
								4	その他事業	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	美術や歴史資料等の活用を図った市民文化の向上	土器どき芦屋の物語 — 遺跡が語る芦屋の歴史 — 展 芦屋の歴史と文化財 展 及び関連事業	開会式	幅広い世代	12月13日	1	30	再掲 22,733	A	入館者層の固定化	専門性を有しつつ、地域と連携した事業や創意工夫を凝らした事業の展開	◎	◎	◎		市民センター・図書館・谷崎記念館	阪神間美術館・博物館 他			
																講演会「災害と地域の美術館・博物館の意義…阪神淡路大震災から20年」	幅広い世代	12月13日	1	20													
																学芸員によるギャラリー・トーク	幅広い世代	12月13日他	3	51													
土器どき芦屋の物語 — 遺跡が語る芦屋の歴史 — 展	幅広い世代	12月13日～翌年2月8日	1	1,253	再掲 22,733	A	入館者層の固定化									専門性を有しつつ、地域と連携した事業や創意工夫を凝らした事業の展開	◎	◎	◎	神戸新聞他	市民センター・図書館・谷崎記念館	主に西日本全域の美術館・博物館 他											
芦屋の歴史と文化財 展	幅広い世代	12月13日～翌年2月8日	1	1,253	再掲 22,733	A	入館者層の固定化									専門性を有しつつ、地域と連携した事業や創意工夫を凝らした事業の展開	◎	◎	◎		市民センター・図書館・谷崎記念館	阪神間美術館・博物館 他											
講座「芦屋の古代文物10選を掘る — 最新の考古学研究からの読み解き —」	幅広い世代	翌年1月12日	1	35																													
ワークショップ「拓本 たくほん TAKUHON」	幅広い世代	翌年1月25日	1	4																													
講演会「ここから、これから、わたしたちの生活」	幅広い世代	翌年1月31日	1	12																													
芦屋の歴史と文化財 展	幅広い世代	翌年2月21日～3月1日	1	4,782	再掲 22,733	A	入館者層の固定化	繰り返し訪れても新たな発見が得られるような創造的事業の展開を図る。常設展の企画展化。	◎	◎	◎		市民センター・図書館・谷崎記念館	阪神間美術館・博物館 他																			
5	展示事業(関連事業としての講座・講演、ワークショップを含む)	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	芸術文化に触れ、親しむことのできる環境づくり	世界を魅了したやまとなでしこ — 浮世絵美人帖 展 及び関連事業	人形劇フェスタ	人形劇の他、紙芝居、マジック、歌等を実施	幼少者及び保護者	翌年2月1日	1	78	再掲 22,733	A	企画・事業の継承	後継者育成との観点で事業内容等検討していきたい。	◎	◎	◎	◎	神戸新聞	市民センター・図書館、各保育所・幼稚園										
								ワークショップ「伝統文化こども能楽体験教室」	小・中学生	5月6日	1	39	再掲 22,733	A	伝統芸能である能楽に対する認知度が低い。	周知先・周知方法等の改善	◎	◎	◎	神戸新聞他	市民センター・図書館・谷崎記念館	阪神間美術館・博物館 他											

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票〔文化ゾーン：図書館〕

課長名		丸尾恵子																											
No	イベント・講座・事業名	新規・継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					H26 事業費 (単位:千円)	効果の実施が客観的に確認できる指標				自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	課題	今後のビジョン	広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組								
			① 施策の柱	② 基本的な施策	③ 主な 施策概要			イベント・講座等の実施内容		対象世代 (難向け)	実施 期間	実施 回数 (回)		参加 人数 (人)	指標名	単位	H25				H26	方向性	掲載された広報媒体(該当するところ◎をご記入ください)		協働した団体				
								イベント・講座名	実施内容														広報 あしや	市HP	あしや/ライ あんぐる	まちナビ	その他 (大手新聞紙 等)	市 (課名)	他の団体 (団体名等)
1	読書講演会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	図書利用促進	講演会を実施した。			大人	2月12日	1	53	33	参加者数	人	39	53	増加	A	図書館利用促進	行事を通じて図書館利用につなげていきたい。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
2	大人が楽しむおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	本の楽しさを伝える	大人を対象としたおはなし会を実施した。			大人	2月25日	1	41	6	参加者数	人	52	41	増加	B	図書館利用促進	行事を通じて図書館利用につなげていきたい。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
3	金曜シネサロン	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	レクリエーションの場の提供	名画の上映会を実施した。			大人	毎月第1・3金曜日	22	1403		参加者数	人	1,414	1,403	増加	B	図書館利用促進	行事を通じて図書館利用につなげていきたい。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
4	震災資料展	新規	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	震災の記憶を継承する	震災資料の展示を行った。			全世代	1月17日~23日	1	207		参加者数	人	-	207	増加	A	図書館利用促進	行事を通じて図書館利用につなげていきたい。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
5	ライブラリーコンサート	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	芸術・文化にふれる	館内でコンサートを実施した。			全世代	4/12, 8/30, 11/15	3	620		参加者数	人	770	620	増加	A	図書館利用促進	行事を通じて図書館利用につなげていきたい。	◎	◎				芦屋市立図書館【友の会】	
6	ギャラリー展示	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	芸術・文化にふれる	芸術作品の展示			全世代		4			参加者数	人			増加	A	図書館利用促進	行事を通じて図書館利用につなげていきたい。	◎	◎				芦屋市立図書館【友の会】	
7	絵本の会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	3歳以上の子どもに絵本の読み聞かせを実施した。			3歳~6歳	毎週土曜日	44	654		参加者数	人	713	654	増加	B	参加者の低年齢化	より充実した内容にしていく。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
8	小学生の本の部屋	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	子どもの読書週間にちなみ、ブックトーク等を行った。			小学生	6月8日	1	23		参加者数	人	23	23	増加	A	事業内容の工夫	より充実した内容にしていく。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
9	人形劇の会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	図書利用促進	幼児~小学生(低学年)向けに人形劇の会を実施した。			幼児~小学生	7月29日	1	108	15	参加者数	人	99	108	増加	B	事業内容の工夫	より充実した内容にしていく。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
10	こどもおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	子どもたちに本の楽しさを伝える	小学生以上の子どもを対象に、昔話等のおはなし会を実施した。			小学生	毎週土曜日	44	452		参加者数	人	685	452	増加	B	参加者の低年齢化	より充実した内容にしていく。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
11	打出分室こどもおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	子どもたちに本の楽しさを伝える	親子を対象にしたおはなし会、絵本の読み聞かせを実施した。			親子	毎月第2土曜日	11	73		参加者数	人	97	73	増加	B	参加者の低年齢化	より充実した内容にしていく。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
12	親子で楽しむおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	親子を対象にしたおはなし会を実施した。			親子	5/24・31, 11/1・9	4	100		参加者数	人	119	100	増加	B	保護者への取り組み	大人に対する読書の取り組みを検討したい。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
13	親子で楽しむ絵本の会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	親子を対象にした絵本の読み聞かせを実施した。			親子	5/24・31, 11/1・9	4	105		参加者数	人	129	105	増加	B	保護者への取り組み	大人に対する読書の取り組みを検討したい。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
14	折り紙教室(子ども対象)	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	図書利用促進	子ども対象に折り紙教室を実施した。			小学生	7月25日	1	56	22	参加者数	人	61	56	増加	B	事業内容の工夫	より充実した内容にしていく。	◎	◎				タウン誌・自治会会報	
15	おはなしの研究会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ_文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	おはなしの研鑽	ストーリーテリングの研究会を実施した。			大人	毎月第4水曜日	11	200		参加者数	人	217	200	増加	B	人材育成	ボランティア育成の場として、充実した内容にしていきたい。			◎			タウン誌・自治会会報	
16	子どもの本の研究会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ_文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	絵本の鑑賞・批評	絵本を中心とした研究会を実施した。			大人	毎月第3水曜日	9	142		参加者数	人	105	142	増加	B	人材育成	ボランティア育成の場として、充実した内容にしていきたい。			◎			タウン誌・自治会会報	
17	資料収集保存	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	ウ_情報の収集等	【20】情報の収集等	情報提供	資料の収集・保存を行った。			全世代					図書受入冊数	冊	15,401	15,607	増加	A	図書館利用促進	情報提供の手法について研究して行きたい。			◎				

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票〔市民センター／公民館〕

課長名		高田浩志																																
NO	イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	1 文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	2 内訳表					H26 事業費 (単位:千円)	3 効果の実施が客観的に確認できる指標				自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成でき た C:達成できていない	6 課題	7 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組 掲載された広報媒体(該当するところ◎を記入ください) 協働した団体													
			① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主 な 施 策 概 要			イベント・講座等の実施内容		対 象 世 代 (誰 向 け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)		参 加 人 数 (人)	指 標 名	単 位	H25				H26	方 向 性	9 広報 あし や	10 市HP	あし や ら い あ ん ど る	ま ち ナ ビ	そ の 他 (大 手 新 聞 紙 等)	市 (課 名)	他 の 団 体 (団 体 名 等)					
								イベント・講座名	実施内容																					参加者数	人	延べ	延べ	増加
								参加者数	人																					延べ	延べ	減少		
1	講座・セミナー・学級等の開催	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	さまざまな学習機会の提供	市民の学習ニーズ及び市の教育方針に基づいて、講座・セミナーなどを実施する。	健康ハイキング講座	ハイキング講座	全世代	4月1日～7月1日	9	延べ248	7,015	参加者数	人	延べ156	延べ248	増加	A	現委託事業者の担当者の力によるところが大きい。	担当者が不在となった場合、事業実施が困難となる。								◎	◎			
								田辺真人先生の「文化の歴史」講座 Part10	歴史講座	全世代	4月9日～9月10日	6	延べ440	上記に含まれる	参加者数	人	延べ388	延べ440	増加	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、少し新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎					募集ちらし					
								歴史を語る Part19 一昭和史の謎に迫る	歴史講座	全世代	4月11日～9月12日	6	延べ649	上記に含まれる	参加者数	人	延べ701	延べ649	減少	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、少し新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎					募集ちらし					
								芦屋病院公開講座	市立芦屋病院と共催する健康講座	全世代	4月12日～9月13日	6	延べ627	上記に含まれる	参加者数	人	延べ254	延べ627	増加	A	講座で取り上げる病気がテーマにより、参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を講義を行う必要がある。	◎	◎					募集ちらし					
								世界はニュースだけではわからない	時事講座	全世代	4月19日～9月20日	6	延べ592	上記に含まれる	参加者数	人	延べ632	延べ592	減少	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎					募集ちらし					
								〈初心者向け〉パソコン講座	パソコン講座	中高年世代	5月16日～6月20日	5	延べ87	上記に含まれる	参加者数	人	延べ98	延べ87	減少	A	受講者にレベル差があるため、どのレベルをターゲットにするかが難しい。	常に受講者のニーズに気を付ける。	◎	◎					募集ちらし					
								芦屋・夙川の街かどウォッチング	街歩き講座	全世代	6月18日～7月2日	3	延べ52	上記に含まれる	参加者数	人	延べ52			A	芦屋を知っていたく講座の1つ	今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎					募集ちらし					
								パソコン講座「Windows 8.1 入門」	パソコン講座	中高年世代	6月28日～7月5日	2	延べ36	上記に含まれる	参加者数	人	延べ28	延べ36	増加	A		常に受講者のニーズに気を付ける。	◎	◎					募集ちらし					
								芝垣哲夫先生と行くとおきのヨーロッパ旅行	地理講座	全世代	9月13日～9月27日	3	延べ220	上記に含まれる	参加者数	人	延べ230	延べ220	減少	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、少し新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎					募集ちらし					
								石器の考古学	歴史講座	全世代	9月25日～11月19日	5	延べ205	上記に含まれる	参加者数	人	延べ205			A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎					募集ちらし					
								健康ハイキング	ハイキング講座	全世代	9月30日～12月2日	8	延べ158	上記に含まれる	参加者数	人	延べ206	延べ158	減少	A	現委託事業者の担当者の力によるところが大きい。	担当者が不在となった場合、事業実施が困難となる。	◎	◎					募集ちらし					
								芦屋病院公開講座	市立芦屋病院と共催する健康講座	全世代	10月4日～3月14日	6	延べ405	上記に含まれる	参加者数	人	延べ395	延べ405	増加	A	講座で取り上げる病気がテーマにより、参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を講義を行う必要がある。	◎	◎					募集ちらし					
								歴史を語る Part20 一昭和史の謎に迫る	歴史講座	全世代	10月10日～3月13日	6	延べ617	上記に含まれる	参加者数	人	延べ665	延べ617	減少	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、少し新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎					募集ちらし					
								田辺真人先生の「文化の歴史」講座 Part11	歴史講座	全世代	10月8日～3月11日	6	延べ388	上記に含まれる	参加者数	人	延べ425	延べ388	減少	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、少し新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎					募集ちらし					
								世界はニュースだけではわからない	時事講座	全世代	10月18日～3月28日	6	延べ558	上記に含まれる	参加者数	人	延べ578	延べ558	減少	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎					募集ちらし					
								芦屋・西宮の街かどウォッチング	街歩き講座	全世代	11月5日～11月26日	3	延べ55	上記に含まれる	参加者数	人	延べ61	延べ55	減少	A	芦屋を知っていたく講座の1つ	今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎					募集ちらし					
								芦屋大学公開講座～心とからだを考える	芦屋大学と共催する健康講座	全世代	11月22日～12月6日	2	延べ35	上記に含まれる	参加者数	人	延べ62	延べ35	減少	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎					募集ちらし	芦屋大学				
								にほんごがっしゅう	日本語の会話、読み書き	主に外国人	H26年4月4日～H27年3月27日	47	延べ209	上記に含まれる	参加者数	人	延べ207	延べ209	増加	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎				募集ちらし 英字版広報 あしや							

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票

課名	課長名	H26	イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					H26 事業費 (単位:千円)	効果的実施が客観的に確認できる指標					自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成でき た C:達成できていない	課題	今後のビジョン	広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組								
					① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主 な 策 略 概 要			イベント・講座等の実施内容		対象世代 (難向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)		参 加 人 数 (人)	指 標 名	単 位	H25	H26				方 向 性	掲載された広報媒体(該当するところを○を記入ください)							
										イベント・講座名	実施内容														市HP	あしやライ あんぐる	まちナビ	その他 (大手新聞紙 等)	市 (課名)	他の団体 (団体名等)		
																															広報 あしや	市HP
地域福祉課	細井洋海	1	地域福祉ア クションプ ログラム 推進協議会	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	ア_市民の文 化活動の充 実	【1】文化に対 する関心、理 解を深める ための普及 啓発	文化を通じ た地域福祉 の推進	地域福祉推進を目的とし、「手話 落語」や「防災かるた」を媒体と して、安心・安全な地域づくりに 寄与	市民が創る福祉 プロジェクト展	地域福祉計画を推進 するプロジェクトの 活動紹介等	一般市民	3月	1	50程度	1,100	参加者数	人	48	64	増加	B	行事の普及・啓発が 不十分	参加者による「手話 落語」や「防災かる た」の普及・啓発	○							戸屋ボランテ ィア連絡会
								地域活動の 実践報告を 通じて各地 域の文化を 共有	自治会等が実施する活動報告を通 じて各地域の文化活動の共有・普 及	保健福祉フェア	地域発信型ネッ トワークに参加する地 域の活動を紹介	〃	7月	1	100程度	〃	参加者数	人	111	120	増加	B	各地域での取組みの 普及が不十分	取組を知り地域で普 及	○	○				福祉セ ンター	戸屋ボランテ ィア連絡会	
								文化を通じ た地域福祉 活動の支援	地域活動の支援を行うとともに、 各地域で開催されるイベント等で 本協議会の活動を普及・啓発	茶屋秋祭り	本協議会活動の紹介 プロジェクトの活動 への寄附(2~3年に1 回)活動	〃	10月	1	100程度	〃	参加者数	人	-	126	増加	B	寄附活動の継続や拡 充が困難	寄附しやすい仕組み づくりとそれによる プロジェクト活動の 充実								茶屋の町自治会
公園緑地課	足立寛	2	戸屋オー プン ガーデン	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	ア_市民の文 化活動の充 実	【2】市民の鑑 賞機会の提 供	花と緑い っぱいのま ちづくり に向けた市 民との協働	花と緑のまちづくりの推進を目的 に個人宅、マンション敷地、学校 園、公園で活動されている個人・ 団体から参加を募り、庭や花壇を 公開。			全世代	5月11日 ~5月18 日	1	81	1,354	参加者数(オー プン ガーデン箇所数)	箇所	81	81	現状維持	B	公共施設、個人参加 者の定着及び促進	花と緑いっぱいの取 り組みを実施し、市 民意識の向上を促 す。	○	○		○				
生害学習課	長岡一美	3	谷崎潤一郎賞 受賞記念特別 講演会の開催	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	ア_市民の文 化活動の充 実	【2】市民の鑑 賞機会の提 供	谷崎賞受 賞作家を 講師にし た講演会 を開催し 、戸屋 市を谷崎 文学とし て市民に 啓発を図 る。	谷崎潤一郎賞の受賞者を講師に招 き、戸屋ルナ・ホールで講演会を 開催する。			文学愛好家	11月26日	1	262	584	来場者数	人	-	262	増加	B	受賞者の著名度 によって、来場者 数が減少する。	引き続き、本市が 谷崎文学の拠点と してのイメージが 定着するよう、引 き続き開催する。	○	○				読売新聞 「中央公 論」	中央公論新社 読売新聞社 大阪よみうり 文化センター	
市民参画課	山田弥生	4	地区集会所管 理運営事業	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	ア_市民の文 化活動の充 実	【3】市民の文 化活動や発表 の機会の確保	活動の場 の提供	地区集会所を利用して、文化の創 作、練習、発表の場の提供							66,990	利用率	%	47	47	現状維持	A	楽器の演奏などで利 用できない場合があ る。	市として楽器演奏 ができる施設を充 実	○	○						
市民参画課	山田弥生	5	県民交流広場 事業	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	ア_市民の文 化活動の充 実	【4】文化活動 に関する情報 の提供	情報の提 供	地区集会所での県民交流広場事業 の広報紙、ホームページでの広報						0	参加者数	人				A	県民交流広場事業 の後継者が不足して いる。	地域で活動するリー ダーの育成を検討 したい。	○	○							
高齢介護課	宮本雅代	6	敬老会事業	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者へ の敬意	式典と余興			高齢者	9月13日	1	800	12,000	参加者数	人	960	960	増加	B	余興の演目の選択が 困難	対象者を限定し余興 の演目を厳選する。	○			○				
		7	演芸フェス ティバル	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者の 生きがい 支援	演芸披露			高齢者	7月4日	1	600	365	参加者数	人	400	600	増加	B	内容の変化が乏しい	運営方法を考える	○							
		8	Yクラブ活 動支援	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者の 生きがい 支援	生きがい活動			高齢者	通年		会員160	100	会員数	人	186	160	増加	C	参加者が減少	活動内容を検討する	○							
		9	老人クラブ 活動支援	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者の 生きがい 支援	高齢者の 生きがい 活動	高齢者の連帯と生きがい活動			高齢者	通年		会員3000	7,710	会員数	人	3,050	3,000	増加	C	参加者が減少	会員数を増やす	○						
		10	ゆうゆう倶 楽部の利用	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者の 生きがい 支援	趣味等 生きがい 活動	趣味等生きがい活動			高齢者	通年		延6200	150	参加者数	人	6,262	6,200	増加	B	利用者が固定化	利用者を増やす	○						
		11	生きがいデ ィサービス	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者の 生きがい 支援	趣味等 生きがい 活動	趣味等生きがい活動			高齢者	通年		延3400	2,953	参加者数	人	3,563	3,400	増加	B	利用者が固定化	利用者を増やす	○				社会福祉協議会		
		12	シルバー人 材センター 支援	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者の 生きがい 支援	就労の場 と社会参 加	就労の場と社会参加			高齢者	通年		会員1000	20,000	参加者数	人	985	1,004	増加	B	活動場所の確保が限 界	活動場所を検討する	○						
13	老人福祉会 館運営	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	高齢者の 生きがい 支援	趣味等 生きがい 活動	趣味等生きがい活動			高齢者	通年		延28900	5,150	参加者数	人	28,780	28,559	増加	B	利用者が固定化	活動内容を検討する	○					シルバー人材セ ンター			
障害福祉課	鳥越雅也	14	戸屋市障がい 児・者作品展	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	イ_高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	【5】高齢者・障 がい者等の文 化活動の充 実	文化を通 じた世代間 交流	多くの市民に、障がい児・者への 理解を深めてもらうことを目的に 作品を展示			市民	11月6日 ~ 11月12日	1	140	0	障がい者手帳所持者 数における出席者数 割合	%	3	3	増加	B	認知度が低く一般 参加者が少ない状 況である。	周知に努め一般参 加者の出席数増加 も目指す。	○					社会福祉協議会 県立戸屋特別支 援学校		
生害学習課	長岡一美	15	夏休み子ども 教室	継続	①市民の自主 的な文化活 動の推進	ウ_青少年の文 化活動の充 実	【7】青少年の 文化活動の 体験機 会の提供	子どもが 文化財に 興味をも つ機会を 提供	子どもを対象に「まが玉づくり」 を実施し、市内の文化財について 知り、文化財に興味をもつ機会を つくる。	市民センターで、事 業に応募した子ども を対象にまが玉を製 作することによっ て、文化財に興味を もつ機会をつくる。	中学生以下	8月18日	2	延べ60	0	開催回数	回	2	2	現状維持	A	体験のメニューが勾 玉づくりに限られて いる。	勾玉づくり以外のメ ニューを企画する。	○	○	○			公民館	戸屋市文化財ボ ランティア		

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票

課名	課長名	H26 イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	1 文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	2 内訳表					H26 事業費 (単位:千円)	4 効果的実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成でき た C:達成できていない	6 課題	7 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組							
				① 施策 の柱	② 基本 的 な 施策	③ 主 な 施策 概要			内訳表		H26 事業費 (単位:千円)	効果的実施が客観的に確認できる指標					8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組													
									イベント・講座等の実施内容	対象世代 (難向け)		実 施 期 間	実 施 回 数 (回)		参 加 人 数 (人)	指 標 名	単 位	H25	H26				方 向 性	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組						
																								イベント・講座名	実施内容	市	市HP	あしやライ あんぐる	まちナビ	その他 (大手新聞紙 等)
学校教育課	荒谷芳生	16 学校給食展	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校における文化活動の紹介	学校給食・栄養・食生活についてのパネル展示、食生活についてのクイズ、児童作品展示、試食など	市民	7月24日～25日	1	約500人	349	来場者数	人	468	446	減少	B	来場者数を増やす。	広く広報する。	◎								
		17 読書ミニフォーラム	新規	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	子どもの読書活動の推進	幼児児童に向けて、読書推進のための読み聞かせや紙芝居等を行うイベントを実施	親子	11月9日	1	240人	64	参加者数	人					A	参加者を増やす。	会の内容を精選する。	◎		◎					
		18 芦屋市立学校園花いっぱい活動	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校園における文化活動の紹介	学校園が取り組んでいる「花いっぱい活動」を写真展示により市民に紹介する。	市民	7月10日～23日	1	—	467							A	対象が来庁者のみとなっている。	多くの市民に周知したい。	◎			◎			—	
		19 自由研究・教育活動展	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校園における文化活動の紹介	学校園の教育活動の写真や子どもの作品を展示	市民	9月19日～22日	1	約1,400人	366	来場者数	人	1,500	1,400	減少	B	展示内容の精選	展示内容を検討したい。	◎								
		20 中学校総合文化祭	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	中学校間の文化交流	中学生の音楽演奏や作品展示	市民	10月27日、11月15日～17日	1	約1,100人	658	来場者数	人	1,100	1,100	現状維持	A	来場者数を増やす。	広く広報する。	◎	◎							
		21 芦屋市造形教育展	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校園における文化活動の紹介	学校園の子どもの絵画や工作等の作品を展示	市民	2月21日～3月1日	1	約4,800人	509	来場者数	人	4,700	4,800	増加	A	来場者数を増やす。	広く広報する。	◎		◎						
		22 読書スタンプラリー	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	子どもの読書活動の推進	読書冊数を記録し、目標に達した児童に表彰状を渡す。	小学生児童	通年	1	約4,700人	45	ゴール達成者数	人	436	314	減少	C	ゴール達成者が減少した。	ゴール達成者を増やす。									
学校教育課	荒谷芳生	23 食育授業研究会	新規	①市民の自主的な文化活動の推進	オ_人材の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	学校給食を活用した食育の推進	学校給食を活用した食育公開授業を実施し、研修を深める。	教諭・栄養教諭・栄養職員	10月10日	1	約20人								A	食育の取組を各校へ生かす。	研究会等で周知する。								
生涯学習課	長岡一美	24 文化財ボランティア養成講座	新規	①市民の自主的な文化活動の推進	オ_人材の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	文化財ボランティアの養成	今後、文化財に関連するボランティア活動を積極的に行う人材を養成する。	文化財ボランティア養成講座	条件なし	3月6日	1	3	0	参加人数	人		3	増加	B	文化財ボランティアの養成方法が確立していない。	文化財ボランティアの養成方法を確立させる。	◎		◎			芦屋市文化財ボランティア		
市民参画課	山田弥生	25 後援名義使用承認	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ_文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	後援名義による文化活動の支援	市の後援名義の使用を承認する。					0	承認件数	件	93	103	現状維持	A											
		26 社会教育関係団体等の利用料の軽減	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ_文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	使用料の軽減	地区集会所の利用料金を減免する。					0	利用割合率	%	22	21	現状維持	A	社会教育関係団体と一般の団体との区別が難しいと聞いている。	社会教育関係団体については、今まで同様に減免を続ける。	◎	◎							
教育委員会管理課	坂恵弘実	27 芦屋市教育委員会後援名義の使用承認	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ_文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	教育、学術、文化およびスポーツに関する事業を行う団体に対し、芦屋市教育委員会の後援名義の使用を承認することにより、その事業を奨励し、教育、学術、文化およびスポーツ等の振興に寄与した。							後援名義の使用承認件数	件	155	170	増加	A	H26に申請手続きについて、一定の見直しを行ったものの、新規と例年とで同様の手続を行っている点は、さらに検討が必要と考える。	引き続き迅速かつ適正な事務処理に努めたい。									

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票

課名	課長名	イベント 講座 事業 名称	新規 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					H26 事業費 (単位:千円)	効果の実施が客観的に確認できる指標				自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成でき た C:達成できていない	課題	今後のビジョン	広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組									
				① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主 な 策 略 要 素			イベント・講座等の実施内容		対 象 代 代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)		参 加 人 数 (人)	指 標 名	単 位	H25				H26	方 向 性	広 報 あ し や	市 HP	あ し や ト ラ イ あ ん く る	ま ち ナ ビ	そ の 他 (大 手 新 聞 紙 等)	市 (課 名)	他 の 団 体 (団 体 名 等)	
									イベント・講座名	実施内容																					指 標 値
生害学習課	長岡一美	28 秋の公民館講座(文化財関連)	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	市内文化財の啓発	市民に市の歴史や文化財について理解し、関心をもっていただくために、古代史に関連した講座を実施	石器の考古学「一先住者のくらしと石の道具箱を探る」	市内遺跡発掘調査の成果と日本古代史との関係を講義し、市民の市の歴史や文化財に対する理解を図る。	高校生以上	9月25日～11月13日	5	延べ205	0	参加人数	人	595	205	増加	B		様々な文化財関連のテーマで講座を開き、市民に芦屋の歴史や文化財の魅力を知っていただく。	◎	◎					公民館	
		29 戦前の芦屋の聞き取り調査	新規	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	戦前の芦屋文化の継承	戦前の芦屋を知る市民から、当時の記憶等の情報を後世に残すために、聞き取り調査や「戦前の芦屋を語るつどい」を実施	「戦前の芦屋を語るつどい」	戦前の芦屋について市学芸員が講義した後、参加者から当時の情報を提供いただく。	70代以上	10月2日	1	51	0						A	高齢化により戦前の芦屋について知る市民が少なくなっている。	聞き取り調査によって得た情報を将来に適切に継承できる方法を検討したい。	◎	◎	◎			公民館		
		30 市民センター文化財関連展示	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	市内文化財の啓発	市民に市の歴史や文化財について理解し、関心をもっていただくために、文化財に関連した展示を実施	①「石の道具」発掘展 ②指定文化財展	市民センター展示場で市内遺跡からの出土品等を展示し、市民の市の歴史や文化財に対する理解を図る。	中学生以上	①10月15日～10月27日 ②2月13日～3月2日	2		0	展示会数	回	2	2	現状維持	A	何度も開催していくと、展示内容や方法が似通ってくる傾向がある。	文化財ボランティアとの協働をより一層積極的に進め、新しい視点をもった展示を実施する。	◎	◎				市民センター	芦屋市文化財ボランティア	
		31 震災パネル展「震災と文化財パネル」	新規	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	市内文化財の啓発	阪神・淡路大震災20年を機に、震災復興調査を振り返り、文化財の大切さを啓発する。	震災パネル展	市民センター展示場で、兵庫県及び阪神・淡路大震災20年を機に、震災復興調査を振り返り、文化財の大切さを啓発する。	中学生以上	1月30日～2月9日	1	延べ2,000	0						A	今後、震災復興調査成果を市民に普及する方法を検討する必要がある。	周年事業とは関係なく、震災復興調査成果を盛り込んだ事業を企画する。	◎	◎				市民センター	芦屋市文化財ボランティア 阪神・淡路大震災20年事業「震災と文化財の保護」事業実行委員会(兵庫県文化財課及び阪神地区市町文化財所管課)	
		32 トライやるウィーク中学生の受け入れ	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	職業体験を通じた、中学生が文化財に興味をもつ機会を提供	市内の中学校の生徒が、文化財の発掘調査や整理作業に従事することによって、市内の文化財について知り、興味をもつ機会をつくる。			市内の中学校の生徒が、文化財の発掘調査や整理作業に従事することによって、市内の文化財について知り、興味をもつ機会をつくる。	トライやるウィーク希望生徒	5月26日～5月30日 6月2日～6月6日 6月9日～6月13日 11月10日～11月14日	4	延べ15	0	受け入れ学校数	校	4	4	現状維持	A	作業の種類・内容が偏っている。	作業の種類・内容を増やす。	◎					学校教育課	芦屋市文化財ボランティア
33 発掘調査の現地説明会	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	発掘調査を公開し、文化財の啓発を図る	発掘調査現地説明会を実施し、発掘調査成果を公開する。	八土塚古墳群153地点発掘調査現地説明会	岩園町の八十塚古墳群153地点の発掘で発掘された古墳等と出土品を公開し、説明する。	歴史愛好家及び地域住民	7月13日	1	156	300	開催回数	回	0	1	現状維持	A	遺跡の地権者の承諾をばしめ諸条件があるので、すべての発掘調査で現地説明会を開催できない。	発掘調査を実施した場合は、できるだけ現地説明会を開催するようにする。			◎	◎			朝日新聞 読売新聞 毎日新聞 産経新聞 神戸新聞	芦屋市文化財ボランティア		
生害学習課	長岡一美	34 文化財関連冊子の刊行	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【12】文化財保護の充実等	市内の文化財についてわかりやすくまとめた『芦屋の文化財ハンドブック』を3,000部印刷し、刊行。			全市民及び歴史愛好家				373	刊行冊数	冊	2	1	現状維持	A		様々な種類の文化財に関して、わかりやすいハンドブックを刊行する。	◎	◎							
		35 文化財の指定・登録	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【12】文化財保護の充実等	市内の文化財を指定・登録し、保護・活用する	寺田遺跡出土「大鏡」「少領」等墨書土器を市指定文化財に指定し、市立美術館で展示。			全市民及び歴史愛好家				89	指定・登録件数	件	1	1	現状維持	A	指定物件が考古資料に偏っている。	様々な種類の文化財を指定・登録する。	◎	◎				読売新聞 神戸新聞		
		36 『広報あしや』文化財関連記事の掲載	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【12】文化財保護の充実等	「広報あしや」に市内の文化財関連記事を掲載し、啓発を図る。								0	掲載記事数	点	12	12	現状維持	A	高度に学術的・専門的な内容を市民が理解できるように、わかりやすく表現する必要がある。	本市の歴史や文化財の魅力や市民が理解できるように、引き続き、文化財関連記事の掲載を続ける。	◎							
広報国際交流課	鈴木和美	37 姉妹都市交流事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	イ_国内及び国外との交流の促進	【13】国際交流の推進	外国文化との交流	姉妹都市学生観音使節の相互派遣		市民			702	926	参加者数	人	621	702	増加	B	幅広く市民が参加する事業になっていない。	多くの市民が参加する事業にしたい。	◎	◎	◎				NPO法人芦屋市国際交流協会		
広報国際交流課	鈴木和美	38 瀬芦屋交流センター事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	イ_国内及び国外との交流の促進	【14】多文化理解の推進	外国文化の理解	瀬芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業		市民			4,890	7,015	参加者数	人	4,265	4,890	増加	B	幅広く市民が参加する事業になっていない。	多くの市民が参加する事業にしたい。	◎	◎	◎	◎			NPO法人芦屋市国際交流協会		
経済課	近田真	39 あしや秋まつり	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ウ_地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	文化を通じて世代間交流	平成26年10月に予定していたが、台風の影響により中止		全世代	10月	1	—	1,640	参加者数	人	6,000	中止	増加	A	あしや三大まつりとしての総合的な情報発信	他課の参加するイベントでの情報発信	◎	◎	◎	◎	商工会会報	あしや秋まつり協議会			
市民参画課	山田弥生	40 さくらまつり開催事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ウ_地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	支援・協力	さくらまつりへの支援・協力	芦屋さくらまつり	コミュニティの活性化とふるさとづくりの推進	すべての世代	4月5日～4月6日	1	15,500	2,216	参加者数	人	0	15,500	現状維持	A	開催のための協賛金が、集まらなくなっている。	今後も開催を続ける。	◎	◎		◎	新聞折り込み	芦屋さくらまつり協議会		
生害学習課	長岡一美	41 芦屋市文化遺産継承・活性化事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ウ_地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	文化遺産を活用して地域の活性化を図る	文化庁の補助事業「文化遺産を活かした地域の活性化事業」で、実行委員会がだんじり等の文化遺産を活用して地域の活性化を図る。	打出地区の祭りに使用するだんじりの用具の修理及び公開事業	打出地区の住民	3月18日	1	80	0 (実行委員会 9,178)	申請件数	件	1	1	現状維持	A		当該補助事業に積極的に申請し、文化遺産を活用した地域活性化事業を展開する。						打出総代会地車保存会			
都市計画課	東美	42 景観形成推進事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	エ_良好な景観の形成	【16】良好な景観の形成	良好な景観の形成	景観地区内における建築物及び工作物の認定	芦屋市景観フォーラム	コンシロコ氏による基調講演及び附属機関委員によるパネルディスカッションの実施	市民	7月12日	1	500	2,012	景観のアンケートで「良い」と答えた人の割合	%	85	増加	A	制度、施策の認知度が低い。	教育や表彰の実施									

